

キリストの聖体の祭日

金 大烈 神父 2008年5月25日(日)

ご聖体を頂くあなたに

おはようございます。今日12人の天使のような子供達が初めてイエス様の体をいただくために前の席に座っています。昨日この子供達のためにリハーサルがありました。それはこの子供達が初聖体を受けるために何を準備し、どういう姿勢、気持ちで、今日を迎えるべきかについて勉強し、そして12人全員がきちんと赦しの秘蹟(初告解)を受けました。許しの秘蹟を授ける私はすごくうれしかったです。きちんと準備が出来てこの初聖体をいただいた記憶はきっと大人になっても忘れないと思います。

昨日、準備の時子供達に例えを交えながらこんな質問をしました。「ミサに与かるために教会に行った時、姉さんとけんかをしたことを思い出したらどうする？ 自然に全部忘れてそのままご聖体頂いても大丈夫かな？」すると、子供達は「いいえそうではありません」と答えました。そして「もしあなたの心の中で憎しみ、ねたみとかがある時、ご聖体をいただいてもいいのかな？」子供達は「いいえ、そうではありません」と答えました。時に子供達は大人に対して先生になります。

私は定期的に赦しの秘蹟に預かります。それは私がいつもご聖体に接する立場にあるので、ミサのために自分自身をできるだけ清めようとしているからです。皆さんも昔、洗礼を受ける前にご聖体をいただくためには、私達がどういう心を持って頂くべきかについて、ちゃんと勉強したと思います。今はどうですか？ その通りにしていますか？ 教会の門に入る直前に妻と喧嘩しても平気で入って来てご聖体を頂いているのではないのでしょうか？ ミサ中に憎んでいる人が想い浮かんでいるのではないのでしょうか？ 習慣的に聖体拝領の列に並んで「キリストの体」と言われて手に受けて口に入れているのではないのでしょうか？ 良く考えてみてください。私達が頂くご聖体が神様のイエス様の御体と実感できれば恐れさえ感じられると思います。

今日のご聖体の祝日にあえて話さなければならぬことがあります。なぜ聖堂に入ったら静かにして祈らなければならぬのでしょうか？ なぜ罪を犯したら赦しの秘蹟を受けて、清められた純粋な心でご聖体をいただかなければならぬのでしょうか？ なぜ人と仲良くしなければならぬのでしょうか？ いろいろな理由がありますが、その真ん中にあるのは聖体に対しての信仰です。

今日の第二朗読の「キリストの体を頂いた私達は沢山いてもひとつの体です」という言葉は、私達はキリストの御体によって結ばれた兄弟姉妹であることを意味しています。赦しの秘蹟を受ける一番大きい理由はイエス様を自分のうちに受け入れたいということです。皆様良く考えて下さい、今日何ヶ月ぶりにミサに来た方もいらっしゃると思います。その方は聖体拝領の時に自然に列に並んでご聖体いただくべきでしょうか。昔から伝統的な大きな罪の一つはご聖体を冒瀆することです。ご聖体は命の源だからです。勿論、厳密に言いますと、この世の中、資格があつてご聖体を頂く人は一人もいません。ご聖体の拝領は資格の問題ではありません。私達がご聖体を頂けるのは資格があるからではないのです。ご聖体はイエス様がただご自分の愛を持って私達に下さった贈り物です。

何度も強調して質問しますが、「聖体を頂くために必要な心はなんなのでしょうか？」一つは「謝っても謝っても私は罪びとです。すみません」という心と「それでもイエス様、今日も私のうちに来てくださって感謝します」という二つの心です。この二つの心があれば皆様のうちにおられるイエス様を絶対に感じ歩み寄ることが出来ます。

昔は日曜日のミサに預かることが出来なかった時は次のミサに預かる前に必ず赦しの秘蹟を受けました。今は時代が変わりゆるくなって一年に1回か2回しかミサに預からなくても平気でご聖体をいただけます。少し申し訳ない気持ちは起きないのでしょうか？ 前に私は言いました。司祭はミサのと

き一度見回してみると誰がミサに預かっているか、ミサに来なかった人が誰かをすぐ分かります。何ヶ月見えなかった方がミサに預かっている姿もすぐ気がつきます。今日ミサに来ている人、来ていない人、1ヶ月ぶりにミサに来た人も全部頭の中に入っています。長い間、ミサに預かっていない人にご聖体を授ける時、説明できない位、胸が痛くなります。このまま授けてしまっていいのか辛くなります。なぜなら、司祭はイエス様を守らなきゃならない使命も持っているからです。

今日ご聖体の祝日に、この12人の子供達が初めてご聖体を頂きます。この初聖体を迎える子供達のお父さん、お母さんをお願いします。是非この子供たちの信仰の鏡になって下さい。あなた達が日曜日のミサに預からないで子供たちにご聖体について説明するのは嘘です、詐欺です。まず親として信仰の生活をして下さい。そうしたら子供たちは自然に習います。親がめっちゃくちゃなのに子供達に祈りなさいと言うことは子供に抵抗感だけ大きくさせてしまいます。親としての役割は子供達にこの世の中をうまく生きて行く方法を教えてあげることです。その方法はなんですか？それは私たちにとってのキリストです。その信仰を子供たちにいつも伝えて下さい。

もう一度皆様ご聖体の祝日に考えましょう、自分にとってご聖体は何の意味があるのかをよく意識しましょう。疑いなしにイエス様の体だと思いながらご聖体をいただくように祈りましょう。ご聖体を頂いてから私のうちに生きておられるイエス様を意識しながら生活しましょう。

私達は溢れる程神様の愛に恵まれています。その恵みに気が付かなくてははいけません。私のために今日もイエス様は殺されます。その教えを無駄にしないように私達も協力しなければならないことを意識しましょう。皆様、ある意味でこの世の中で一番求めなければいけない宝物をイエス様は毎ミサを通して下さるのをいつも覚えていて下さい。

ありがとうございました。